

ふくい街角景気速報

(令和6年11月分)

調査期間 令和6年11月19日～26日 (回答率: 91%)

概況

景気の現状判断DIは52.7となり、前月と比べ1.9ポイント上昇した。

景気の先行き判断DIは46.7となり、前月と比べ3.9ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 52.7 (前月比 +1.9)

- 家計動向関連では、前月に比べ 1.6 ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 0.7 ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ 6.3 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

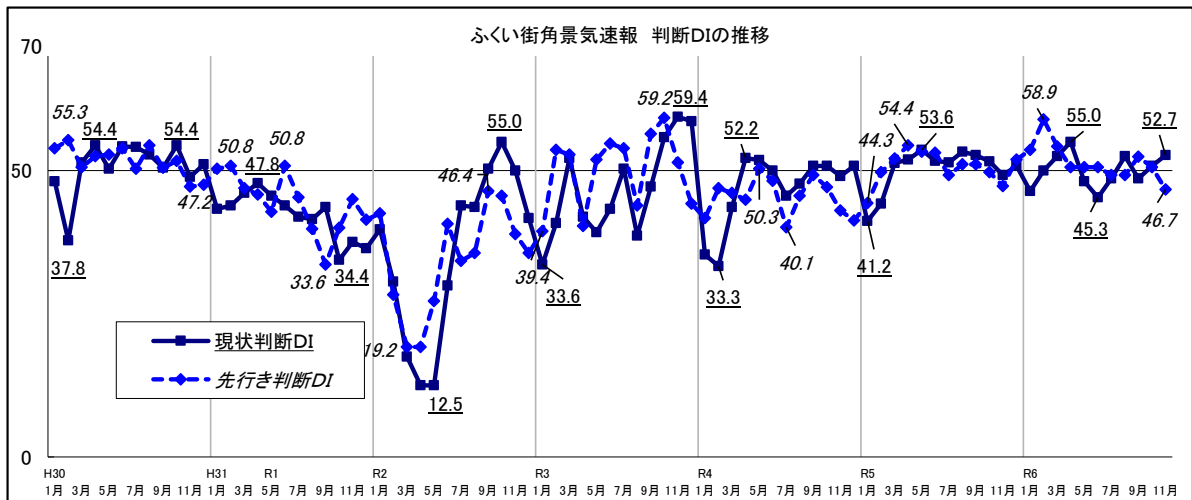
- デスティネーションキャンペーンが始まり、飲食店、お土産関連のお店は潤っていると感じる。(商店街)
- 若干回復傾向も見られるが、原料高騰、値上げ等が続いており、まだまだ低調な動きである。(繊維関連)

■景気の先行き判断DI 46.7 (前月比 ▲3.9)

- 家計動向関連では、前月に比べ 3.9 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 5.1 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月と同水準であった。

(意見の主な内容)

- 気候に左右されるが、冬場は閑散期となるので、人流としては落ち込みが予想される。(観光関係)
- 中国経済の低迷や、地政学リスクによる先行きは不透明である。(電気機械関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R6 6	7	8	9	10	11	(前月差)
合計		45.3	48.6	52.5	48.6	50.8	52.7	+1.9
家計動向関連		41.8	41.3	52.3	46.9	50.6	52.2	+1.6
小売		42.7	37.1	47.2	46.8	47.3	47.5	+0.2
飲食		35.0	50.0	60.0	41.7	55.0	60.0	+5.0
サービス		42.5	47.9	60.4	50.0	56.8	62.5	+5.7
企業動向関連		45.5	53.9	52.9	50.8	51.5	52.2	+0.7
製造業		45.8	50.0	51.0	51.1	51.0	52.0	+1.0
非製造業		44.4	62.5	57.5	50.0	52.8	52.8	+0.0
雇用関連		59.1	62.5	52.1	50.0	50.0	56.3	+6.3

○回答別構成比

	年 月	R6 6	7	8	9	10	11	(前月差)
良くなっている		2.2%	3.3%	3.3%	3.3%	4.4%	4.4%	+0.0
やや良くなっている		17.8%	17.8%	23.3%	14.1%	17.8%	24.2%	+6.4
変わらない		44.4%	51.1%	53.3%	58.7%	54.4%	50.5%	▲3.9
やや悪くなっている		30.0%	25.6%	20.0%	21.7%	23.3%	19.8%	▲3.5
悪くなっている		5.6%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	1.1%	+1.1

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R6 6	7	8	9	10	11	(前月差)
合計		50.6	49.2	49.2	52.4	50.6	46.7	▲3.9
家計動向関連		51.1	46.7	47.2	54.2	50.6	46.7	▲3.9
小売		49.2	42.2	46.3	53.2	50.0	49.2	▲0.8
飲食		65.0	65.0	40.0	41.7	55.0	35.0	▲20.0
サービス		50.0	50.0	52.1	63.6	50.0	45.0	▲5.0
企業動向関連		46.2	50.8	50.7	50.8	50.0	44.9	▲5.1
製造業		42.7	48.9	50.0	50.0	50.0	44.0	▲6.0
非製造業		55.6	55.0	52.5	52.8	50.0	47.2	▲2.8
雇用関連		61.4	54.2	52.1	50.0	52.1	52.1	+0.0

○回答別構成比

	年 月	R6 6	7	8	9	10	11	(前月差)
良くなる		3.3%	2.2%	1.1%	3.3%	4.4%	1.1%	▲3.3
やや良くなる		24.4%	22.2%	20.0%	23.9%	17.8%	16.5%	▲1.3
変わらない		47.8%	50.0%	54.4%	54.3%	54.4%	54.9%	+0.5
やや悪くなる		20.0%	21.1%	23.3%	16.3%	22.2%	23.1%	+0.9
悪くなる		4.4%	4.4%	1.1%	2.2%	1.1%	4.4%	+3.3

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	気温が下がり秋冬の需要が高まりつつある。秋開催のイベントも昨年より集客が多いように思う。
②やや良くなっている	家計 動向	福井	商店街	デスティネーションキャンペーンが始まり、飲食店、お土産関連のお店は潤っていると感じる。
		奥越	飲食関連	紅葉のシーズンに入って観光客が増えた。
		福井	サービス業関連	車両の生産台数、配車台数が計画をやや上回ってきている。
	企業 動向	福井	化学・プラスチック 関連	商品の出荷が増え始めている。
		丹南	建設・不動産関連	売上、受注共に増加している。
	雇用	嶺南	労働相談員	11月度の相談件数は3か月前と比べると激減しており、景気と相談件数の推移が反比例していれば景気が回復しているバロメーターになると考える。
③変わらない	家計 動向	嶺南	商店街	北陸新幹線の影響により、このまま良い景気が続いていくものと思う。
		嶺南	一般小売店	物価の上昇に対して敏感になり、消費意欲は少ない。
		坂井	スーパー	引き続き値上げの影響があり、客数、売上点数が伸びていない。
		嶺南	コンビニエンスストア	気候が悪くなったからなのか週末に県外のお客様は来てくれている。地元のお客様は来てくれるが、買い物の金額としては少ないように思う。
		奥越	観光物産関係	材料高で売上げが上がっても、利益は変化がない。
		福井	観光関係	新幹線開業以来、県内でのイベント、全国大会などが多く開催され、来県される交流人口が増えているように思う。また、カニのシーズンに入り観光客も入ってきており、夏場の最盛期と変わらない状況。
	企業 動向	坂井	繊維関連	若干回復傾向も見られるが、原料高騰、値上げ等が続いており、まだまだ低調な動きである。
		福井	一般機械関連	国内市場の商談や受注は停滞したまま。
		丹南	電気機械関連	受注・売上は3か月前と比較して大きく変化していない。
		丹南	電気機械関連	客先からの受注状況等に大きな変動は見受けられない。
		福井	銀行等金融関連	税優遇措置を拡充したNISAが始まったが、物価高が家計を圧迫し、投資を通じた資産形成に消極さが目立った。一方観光業界においては、徐々にインバウンドによる売上増加がみられた。
	雇用	坂井	自治体労働政策担当課	中小企業の人手不足対応が課題となっている。
		福井	学校就職担当者	企業の高校生に対する求職状況が落ち着いている。
		福井	ジョブカフェ担当者	令和6年9月における福井県内の雇用失業情勢は、依然として求人が求職を大きく上回って推移している。令和6年8月から県内の有効求人倍率は減少から増加に転じており、この傾向に拍車がかかるものとみられる。
	④やや悪くなっている	家計 動向	福井	一般小売店
福井			百貨店、SC等	気温の上昇から、本来売れるべきものが売れず、入店客数、購買客数の減少は継続。値上げによる価格高騰もあり、売上点数も落ち込んでいる。
福井			百貨店、SC等	物価が上がっていることなどで、お客様の買い物に対しての意識がシビアになってきている。
嶺南			スーパー	気候変動による農産物の不作・値上げ等で販売物が減少。
企業 動向		福井	商社	人件費などの経費の高騰。
⑤悪くなっている	企業 動向	福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、輸出向けで欧州等多くの地域の景気減速と在庫調整による受注減少が続いている。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	年末年始に向け、各店舗が何らかの売り出しや販促事業を開催すると思われる。
②やや良くなっている	家計動向	福井	スーパー	年末年始の早期受注や催事などで客数・売り上げ増加見込み。
		福井	化学・プラスチック関連	年度末まで受注が昨年より少し増えてきている。
	企業動向	福井	銀行等金融関連	小規模事業者の多くが原材料などの上昇分を価格に十分転嫁できていない傾向にあり、今後もコスト高による影響がある一方で、様々なイベントや学会の開催のほか、越前ガニシーズンに向け多くの観光客来訪が見込まれる。
③変わらない	家計動向	嶺南	商店街	北陸新幹線の影響により、このまま良い景気が続いていくものと思う。
		福井	一般小売店	購買意欲が上がっていない。
		嶺南	一般小売店	物価対策もなく、消費に慎重になっている。
		福井	百貨店、SC等	年末年始需要のおせち、クリスマスケーキ予約状況は前年伸長も、必要以上なもの購入は控える傾向は継続。景気回復には程遠い。
		坂井	スーパー	電気・ガス代の補助金再開の話など少し明るいニュースはあるが、なかなか実感にくいものであり、浮いた分が消費には回らない。
		福井	コンビニエンスストア	好転材料が見当たらない。
		坂井	観光物産関係	冬の時期になるので天候(雪)次第で商品の動きに影響が出る。
		嶺南	観光関係	おおむね、先行予約も安定している。
	企業動向	坂井	繊維関連	国内外共に不透明な状況が続いているため。
		福井	一般機械関連	国内メーカーの設備投資への意欲は、来期(来年4月)以降まで現状のままであると予想される。
		丹南	電気機械関連	中国経済の低迷や、地政学リスクによる先行きは不透明である。
		嶺南	商社	個人消費の回復次第である。
		福井	建設・不動産関連	年末年始に向けて、大きく変化する要素がない。
	雇用	嶺南	労働相談員	今後の相談件数や内容など、変化が少ないと考えられることから、景気も大きな変化はないと考える。
		福井	ジョブカフェ担当者	有効求人倍率については季節性の問題で減少・増加に波があるものの、雇用情勢においては大きな影響はなく、雇用の面から見た景況感については今後も変わらないとみられる。
④やや悪くなっている	家計動向	福井	百貨店、SC等	低気温予測があり、一部防寒商材の需要拡大を期待するが、売れる商材が変化するだけで、全体需要の拡大予測は期待低いとみている。
		嶺南	飲食関連	物価変動が続くことと、冬に入るため灯油やガソリンも値上げが始まりそうである。
		福井	飲食関連	雪の季節になり、蟹の集客が落ち着き、デスティネーションキャンペーンの効果も薄くなると思う。
		福井	観光関係	気候に左右されるが、冬場は閑散期となるので、人流としては落ち込みが予想される。
	企業動向	丹南	電気機械関連	アメリカ大統領選後、今後の社会情勢や景気状況が予測不可能になっていること、今後は円安が進行しそうな見通しのため。
		丹南	建設・不動産関連	閑散期へと入る為に、必然的に売上等は減少傾向になる。
⑤悪くなっている	企業動向	福井	繊維関連	冬物が売れないので、業界的に先の春夏物が仕込めない。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長・従業員	2
観光物産関係		
	売場責任者	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)